

【各ワーキンググループの議事報告】

1. 新しい地域のあり方に対応した自動車交通ネットワーク WG

《テーマ》

○地域のニーズに応じた多様な移動手段の相互関係とその活用等

【挙げられた主な論点】

- ・許可区分（乗合・乗用・貸切）それぞれの特性を活かし、地域に適した輸送のサービスを提供する事が重要ではないか。
- ・地域のニーズに即した輸送サービスを提供するためには、車両を柔軟に活用出来るよう、更なる規制緩和が必要ではないか。

○地域公共交通を考える主体としての地域、住民の取組み方

【挙げられた主な論点】

- ・乗合バスが廃止された地区において、輸送人員に沿った形のデマンド交通の運行にあたり、定量的な存続基準を決めて、住民の利用を促すなど、住民の意識の向上を図るべきではないか。
- ・自治体同士が優良事例の共有に限らず、相互の意識を向上させる場としての地域公共交通会議等を活用すべき。

2. 地域産業としての自動車関連事業のあり方 WG

《テーマ》

○企業の生産性向上（企業の集約化・ITの活用）

【挙げられた主な論点】

- ・企業規模の拡大、事業連携、ITの活用による生産性の向上が進展。集約化にあたって、前経営者の処遇、行政処分のあり方が阻害要因となる可能性。

3. クルマの新しいイメージをつくるWT（「ashitamobility」）

《テーマ》

○各委員の取組み紹介

○本WTの名称について、委員からご提案いただいた案の中から、「ashitamobility」（アシタモビリティ）に決定。